ハンドサインで事故防

ストップ運動」実践事業所信誓式。

宣誓式には浄土支社長⑤のほか、豊平郵便 局で集配業務を担当する田中氏らが出席

> 転や歩行者保護を徹底す でこの運動を実施。安全運 日から全道276の郵便局 初の実践事業所として、

けていきたい」と話

どもたちが気持ちよ 社長は「卒業する子

長) は12日(

札幌北警察署

明。

札幌北支部(本間雅実支部

札幌地区トラック協会の

きればという思いで行って

いる」と事業の趣旨を説

札卜協北支部

∭人が企画体験

く最後の登下校をで

コットキャラクター

「ぽず マス

4月6日からは、

くま」が描かれたステッカ

ーを道内の郵便車や郵便バ

PRに

も協力する。 日本郵便輸送

一小学校)

地域貢献の一環と

して、卒業式前に

「安全講話や体験企画を通

交通事故ゼロの社会

大吾交通第一係長が管内 藤辰哉交通第一課長と木下

久保和征実行委員長

講話では、

北警察署の遠

説したほか

する際の

オの上映を行った。

参加者は俊敏性

行った。

(高清水彩)

呼び掛ける嶋田部会長

コンプライアンス徹底を

ゴ大会や食事会も

ランティアで行って

発する様々な企画を体験し

を広げ、 いる。

事故ゼロの社会を 緒に交通安全の輪

目指そう」と呼び掛けた。

2022年からボ

人が参加し、

交通安全を啓

いた。地域の高齢者100 ンジ・ザ・交通安全」を開 した交通安全事業「チャレ と共催で、高齢者を対象と

心な社会を目指し、事故防

は交通事故のない安全で安

本間支部長は「当支部で

止に向けた事業を推進して

ラム」などでも公開予定。 会社のイメージアップや認

真共有アプリ「インスタグ

内容や企業里をです。 が島みやさんに同社の事業 | 理念とプっこう | が島みやさんに同社の事業 | 異念とプっこう | が島みやさんに同社の事業 | 異念とプっこう | た。完成した曲を聴いた社

<ト「ユーチューブ」や写

知度向上に役立てていく。

作詞作曲と歌唱は、札幌

ラスで制作する曲を決め 社員投票により、フルコー の候補を用意してもらい 初に、サビ部分のみの3曲内容や企業理念を説明。最

> 討しているという。 今後、SNSで公開するほ

投票で僅差だった

北区)は、北毎首いまである。これでは、東区)、北海道町更通送(中ヨくないで、海道支社(及川裕之執行役員支社長、東区)、北海道町更通送(中ヨくないで、海道支社(及川裕之執行役員支社長、札幌市中央区)と日本郵便輸送の北 北区)は、北海道警などが交通事故防止に向け推進する「ハンドサインでストッ

便輸送協会会長)らが出席した。

道警本部で宣誓式が開かれ、

日本郵便北海道支社など

プ運動」は、歩行者が被害

「ハンドサインでストッ

栄冠運輸

者となる交通事故を防ぐた

小学校で除排

雪

らは、

清掃・美装会社のク

(朽木崇洋)

できるようにした。24年か を増やし、より多く除排雪

いる。

哲也社長、同)も協力して

断歩道で歩行者とドライバけている。信号機のない横め、道警や道などが呼び掛

栄冠運輸(伊藤尚宣社

例年実施している。 の一環として、卒業式前に

高齢者対象に交安事業

どして、 にする。

安全に渡れるよう

除排雪を行った。地域貢献 日、滝川市の小学校4校の長、北海道滝川市)は15

|ベルを出動させ、学校の雪

を運び出した。伊藤

大型ダンプとタイヤショ

の実践事業所として、13日本郵便の北海道支社は

-が互いに手で合図するな

ブ運動」に取り組む。

バイクや車両にステッカーを貼付し、周知にも協力。12

淨土支社長と及川支社長、

中田社長(北海道郵

の伊藤泰充本部長に宣誓書

宣誓式で、浄土氏が道警

て、気持ちよく通行できる

て交通安全に貢献してい

の言葉を述べた上で、

の道路利用者が安心し言葉を述べた上で、「全

防止の講習会も開催した。

同支部では毎年、

石巻労

を手渡した。伊藤氏は感謝

く」と話した。豊平郵便局よう今後も取り組んでい

(朽木崇洋)

るほか、今後、動画投稿サームであるテレビCMに使用す

10周年を記念して社歌を制

業のCMソングの制作に加

「手から手へ」。

大切な人

選ばれた曲のタイトルは

札幌市西区)

(岩部俊社

に依頼。島みやさんは、北

M活用・SNS公開

海道を中心とした様々な企

した。 4月から放送を開

え、

アニメ「ひぐらしのな

く頃に」のオープニングテ

優しいメロディーに乗せ たいという思いを爽やかで に真心と一緒に荷物を届け

ーメ・野菜輸送を効率

引環境・労働時間改善岩手 トラック輸送における取 長 県協議会(宇佐美誠史座

統

フ

レコンや拠点集約

のパレチゼーションシステ テナの普及拡大や紙袋輸送 全農統一フレキシブルコン ため、JA全農主導により については、輸送力確保の 告した。コメの物流効率化

| 異業種会社との共同輸送を | にあり、トラック1台当た |

た。改善に向け集配拠点の

(24年6)、

の活動内

メンによる集中監視月間

また、トラック・物流G

する取り組み、新物流2法

最近のトラック運送業に関

の概要などについても説明

(鈴木明香理)

の取り組みに生かしてい

た動画を活用しながら、こ

による飲酒運転事故が発生

野町で事業用大型トラック

バーが逮捕された。 し、22日に郡山市のドライ

日とすることを発表。そん

な中、2月21日に福島県広

飲酒運転の取り締まり強化

いるなどの課題を指摘し

コメ専用列車の定期運行や

々野菜の生産量が減少傾向 業者2社へヒアリング。 組みでも、発荷主や運送事

年

定した取引が難しくなって

運賃が採用されており、安 っている、従来から個建て りの積載率確保が難しくな

ことを明らかにした。

集約化、車建運賃への切り

替えなどに取り組んでいる

事業者の労働時間の実態。容のほか、4月以降の物

4月以降の物流

導入し、パレット輸送は30

では統一 ム化を進めており、

フレコン40万枚を

野菜の物流効率化の取り

23年産

進めている。

県以上に拡大。このほか、

た取り組み内容を示すとと は12日、物流効率化に向け 岩手県立大学准教授)

輸企画専門官 組みなどを報告する岩運 支局の竹林孝也・首席運 物流効率化に向けた取り

いわべ物流10周年

社歌

ディーで同社をPRする。 ッチーな歌詞と軽快なメロ

島みやさんは「子どもか

したため中止とした、と報一部で開かれた。取引環境と 状で問題がないことを確認 ヒアリングしたところ、現 事業について、対象団体へ

もに、 ンの活動などを報告した。

メの輸送を対象にした実証 4年度に実施を延期したコ 岩手運輸支局は、202 トラック・物流Gメ

働き方改革 24年問題 状況把握へ調査 重要性を周知

福島協

時間外労働の上限規制が適

クドライバー不足に加えて

題』に直面し危機感を持っ

長も「ドライバ

一の労働条

用され、

『2024年問

ても体制整備に努めてい

福島労働局の井口真嘉局

と述べた。

から感謝する。

運輸局とし

荷主への配慮の要請などに

重要性などに対する周知や 件改善のため働き方改革の

引き続き取り組んでいく」

者と荷主の本気の対応に心

て対応している。物流事業

福島大学名誉教授)が7 県協議会(今野順夫座長、 引環境・労働時間改善福島 トラック輸送における取 長時間労働についての情報 共有や、その改善に関する を展開した。 施策の共有をテーマに議論

東北運輸局自動車交通部

の佐々木敏部長が「トラッ

月から放送予定のテレビC 福島県トラック協会本 4

いわべ」は、

一設立10周年の良い記念にな るCMソングや人気アニメ ら誰もが耳にしたことのあ の曲を担当した島みやさん に曲を作っていただけて、

度向上はもちろ めるツールにもし 社員の絆を深 当社の認知

している。 ていきたい」と話 (高清水彩) 巻支部(武山孝好支部長)

記念撮影に臨む 左から2人目) 岩部社長(前列

ようなメロディーと分かり やすい歌詞を意識した」 بح

の菅原署長

韻を踏んだキャ

代の方に覚えてもらえるよ らお年寄りまで、幅広い世

シンプルで頭に残る

と島みやさん

達成事業所への認定証交付

14日、労働災害「ゼロ」運動

宮城県トラック協会の石

を行うとともに、労働災害

「ゼロ」運動を展開して

宮卜協石巻支部

労災ゼロ運動 認定交付

36事業所が達成



継化し、経化し、 る

を

「経営の設計図」

で明

経営改革や事業承

「経営デザイン認証」取得

持続的な価値創造に力

回発表しているもので、ヨ 下良則共同委員長)が年1証委員会(渡邉光一郎、山

同社は「顧客価値経営の

織の在りたい姿や変革課題長、秋田県横手市)は、組

ヨコウン(塩田充弘社

の経営品質協議会(泉谷直

同認証は日本生産性本部

木代表)の経営デザイン認

の解決と持続的成長を目指 動産事業を展開。社会課題 併・買収)や環境・物流不 推進するほか、M&A(合

している点などが評価され

値創造に努めていく

方針を

減少に対応する10年計画を

あいさつする小野田支部

人ピーチした。

3

コウン

宮城県支部(高原博支部 長)と連携し、労働災害 送事業労働災害防止協会の 働基準監督署や陸上貨物運

ば

幹二郎副署長が

とした話題提供もあった。 康経営を考える」をテーマ 康づくり支援班からは「健 た。また、石巻保健所の健

の高揚を図り、

撮影を行った。 し、郵便バイクを前に記念 当する田中美羽氏も出席 (豊平区)で集配業務を担

る。労災防止に対する意識 安全衛生活

現場の

協議会(森和彦座長、秋田 トラック輸送の現場での変 大学名誉教授)は3日、会 引環境・労働時間改善秋田 化や課題解決に向けた対応 合を開き、2024年度の トラック輸送における取 | 泰会長)

田県トラック協会(近藤哲 策などの情報を共有した。 秋田運輸支局と秋田労働局 からの情報提供のほか、秋 告もあった を図る実装事業の進捗報 圏への青果物物流の効率化 ン)協議会が取り組む首都 トランス 田青果物流DX(デジタル などで組織する秋 フォーメーショ



安全啓発ビデ 通 は、交通標識を使 や車の死角を確

>Rゴーグルを の死角を確認す

ルールを再確認し 能のチェックや交 がら、自身の身体 つの企画を体験。 トレーニングなど するVRゴーグ 運転中の危険予 ム感覚で楽しみ

運点項目学ぶ

重要」とあいさつ。

の徹底に努めていくことが

距離輸送部会(嶋田誠部会 適正化事業部の巡回指導に 秋田県トラック協会の長 秋卜協長距離部会 が「巡回指導における重点 潮田菊郎適正化事業部長

①改善基準告示特例項目の 所の巡回間隔の短縮③アナ 周知②C(普通)評価事業 2025年度の方針として 指摘が多い状況を説明し、 別指導、適性診断の項目で 演。巡回時に過労防止や特 タルトランスフォーメーシ 項目と運行管理DX(デジ ョン)化」をテーマに講

た。 指導強化 自動点呼に関しては、 などを示し

内容を紹介し、申請から補構築加速化の各事業の補助機・一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、 等支援とモーダルシフト推 助金交付までの流れについ 説明。秋田県は物流効率化 の担当者らが実演を交えて 海電子とNPシステム開発

する。課題を抽出して今後 てからま を確認す Ó るため、25年4月 経過時点での状況 もなく1年とな -トを実施 と防止のポイント」につい故防止総集編~事故の実態 長森紀紘氏は「トラック事交通安全アドバイザーの て講義。事故の瞬間を捉え

(稲井日菜子)

た4回の講習の重要なポイ れまで同氏が同支部で行っ

ントを振り返った。

改め 祭署の相良昭博交 らは事故防止に向 て気を引き締め 自動車にはねられ死亡する 歳の受験生が飲酒運転の軽 郡山駅前で1月22日、19

気を引き締めて事故防止を

徹底してほしい」と話し

(稲井日菜子)

このような事故が起き残念

に思う。今日の研修を機に

全活動に注力してきたが

小野田支部長は「交通安

講演。事故 通第一課長が「交通事故の たけり 訴えた上で具体的な事故防 がら、交通事故の悲惨さを 故事例を紹介しな いて」をテーマに

止対策を説明した。 事故が起きた。これを受 労働の上限規制が適用され

事故防止へ講習

テルアネックスで事故防止 長)は7日、郡山ビュー中支部(小野田弘明支 講習会を開いた。会場近く -支部(小野田弘明支部福島県トラック協会の県 福卜協県中支部

ついてのアンケートの結果 24年問題への対応の実態に では、福ト協で実施した、 23年5月の福島県協議会

あいさつする東運局自動

車交通部の佐々木部長

取り組み。 Ó 動の着実な実施などによ 労働災害ゼロを目指す 期間中に 悲惨な事故が発生してお では1月、

飲酒運転による

アイセイ運輸の相沢取締

を読み上げる石巻労基署 役倒に労災ゼロの認定証 でゼロ運動が展開された。 月1日から25年1月31日ま される。2024年度は8 の3人連名で認定証が交付 長、石巻労働基準監督署長 部長と陸災防の宮城県支部 を満たした事業所には、 災害ゼロ」などの達成要件 支

沢匡社長、石巻市)の相沢 聡也署長から達成事業所を 式では、石巻労基署の菅原 標を達成した。 代表してアイセイ運輸 この結果、 36事業所が目 当日の交付

> 席。今後も「経営の設と申請メンバー3人が と申請メンバー3人が出開かれた認証式に塩田社長

戦して成長しており、人口 ションを提供し、変化に挑

> た」としている。 を得る貴重な機会となっ

にワンストップでソリュー

総合物流サービスを強み て、更なる成長への気付き

れた企業との交流を通じ

取得した。3日に東京都で

つに選ばれた。

クアップ認証」12組織の一を得るとともに、ほかの優 コウンは上位認証の「ラン 在り方について多くの知見

経営デザイン認証」を 経営人材育成につなげ

彰宏取締役に認定証を交付

管理で留意すべきポイン 開かれ、石巻労基署の宮野 交付式に続いて講習会も をテーマに講義を行っ 「安全衛生

(黒田秀男)

いる。今年は例年より台数 リーンサービス中西(中西

取引労働改善秋田協 変化

ど共有

横ばいとなっていることを間と荷役時間の合計はほぼ間と荷役時間の合計はほぼ

2法のポイントやパレット

状況、標準的な運賃を活用の標準化に向けた取り組み

した運賃交渉の促進などに

説明した。このほか、新物流|ついても述べた。(今松大)

東時間を発表。前回調査し が24年秋に調査したドライ 秋運支局が、国土交通省 運行当たりの平均拘

長)は6日のセミナーで、

巻く環境は厳しい状況が続 高騰など長距離輸送を取り 率化を支援する補助金の情 いている。しかしながら我 報提供も行われた。 学んだ。秋田県から物流効 おける重点項目や自動点呼 嶋田部会長が「燃料価格 いての最新情勢などを ログ運行記録計記載内容の

プライアンス(法令順守) 々は、そうした中でもコン

て情報提供した

三田澪)

け、福島県警は毎月22日を